

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回3月の「てがたん」は3月10日(土)で「食べられる植物」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

\*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打合わせは**3月3日(土)**です。よろしくお願いいたします。

## 2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→市民農園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年2月11日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 21名
- 市民スタッフ 10名(蒲田知子、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘寛さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3名(塩田いづみ、染谷実紀、村松和行)

## 観察記録 - 2月に観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、コガモ/クイナ科：オオバン/カモメ科：セグロカモメ/ハト科：キジバト/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/モズ科：モズ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ツグミ科：ツグミ、シロハラ/シジュウカラ科：シジュウカラ、ヤマガラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：アオジ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

### 【昆虫・クモ】

ハチの仲間：ニホンミツバチ(巣)、スズバチ(巣) / チョウ・ガの仲間：チャミノガ(幼虫)、イラガ(まゆ)、アオイラガ(まゆ)、  
バッタの仲間：クビキリギス

### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ/シソ科：ホトケノザ/アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/ナデシコ科：  
コハコベ/イネ科：スズメノカタビラ

### 【実】

スイカズラ科：ガマズミ/ミカン科：サンショウ、ユズ(植栽) / スズカケノキ科：アメリカスズカケノキ/ザクロ科：ザクロ(植栽)

### 【冬芽】

マメ科：ハリエンジュ/クマツツラ科：クサギ、ボタンクサギ/ツツジ科：ドウダンツツジ/ミカン科：サンショウ/カバノキ科：ヤマハンノキ、  
ハンノキ/スイカズラ科：サンゴジュ、ガマズミ、ニワトコ/ミズキ科：ミズキ/サルトリイバラ科：サルトリイバラ/カエデ科：カエデ/  
ニレ科：ケヤキ、ムクノキ、エノキ/ニガキ科：ニワウルシ(シンジュ) / エゴノキ科：エゴノキ/スズカケノキ科：アメリカスズカケノキ/  
クマツツラ科：ムラサキシキブ/アジサイ科：アジサイ/トチノキ科：トチノキ

# 2月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬芽の観察」でした。植物それぞれの冬芽の保護の方法や、位置によって葉になる芽と花になる芽の違いなどを観察しました。中には動物の顔のようにみえる冬芽もありました。

今回のてがたんで観察した鳥は28種で、今年のとがたんで、まだ観察していなかったツグミがやっと見られました。



今月の案内人 古川 克彌さん



1  
ドウダンツツジの冬芽 (頂芽・鱗芽)



2  
アジサイの冬芽の頂芽は裸芽で側芽は鱗芽



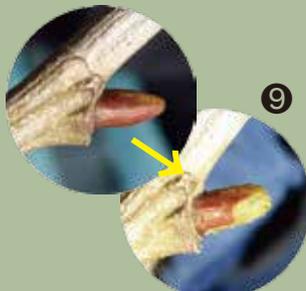
3  
右はヒノキ、左はスギの実



4  
ニレ科3兄弟の冬芽の中で一番尖っているムクノキ (側芽・鱗芽)

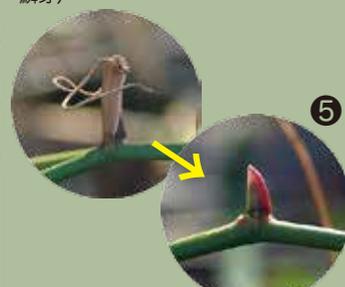


6  
ハゼノキの下にタネが混ざった鳥のフンがありました



9  
アメリカズカケノキの冬芽

アメリカズカケノキの冬芽は鱗芽で、芽鱗はキャップの様な形をしています。ちなみに街路樹として多く使われるのはモミジバズカケノキ。

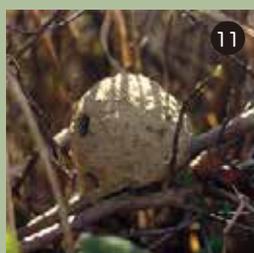


5  
サルトリーブラの冬芽

サルトリーブラの冬芽は鱗芽で芽鱗に保護されていますが、さらに枯れたつるが冬芽を覆っています。



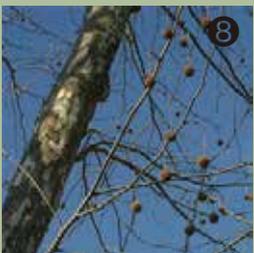
12  
顔のようにみえるハンノキの維管束痕



11  
泥を固めて作るスズバチの巣



10  
今月の鳥ミコアイサを探しましたが結局見つからず



8  
丸い実がかわいらしいアメリカズカケノキ



7  
触るとベタベタするトチノキの冬芽 (頂芽・鱗芽)

## 今月の鳥 ミコアイサ

(カモ目カモ科) 全長：39~44cm

冬鳥として全国の湖沼、大きな河川、海上などに飛来します。

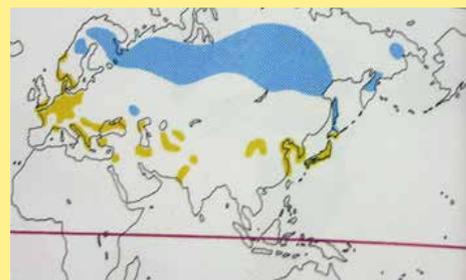
今回のてがたんでは残念ながら観察できませんでしたが、博物館で毎月1度行っている手賀沼の水鳥調査では、昨年11月に1羽観察され、12月に9羽、今年1月に41羽が観察されています。



オス

メス

オスは別名パンダガモと呼ばれ、目立ちますが、メスは頭が赤褐色でオスに比べて地味な羽色です。



ミコアイサの分布図

分布図の色 留鳥 夏鳥 冬鳥